

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 学校開放事業
-------------------	---------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす						
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進						
小分類	4	施設整備の推進						
主要な施策	3	利用者間の調整						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>54143001</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>昭和 5 4 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	54143001	事業開始年度	昭和 5 4 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	54143001	事業開始年度	昭和 5 4 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	学校開放事業費
------	------	------------	---------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 学校の体育施設を開放することにより、その地域の住民のスポーツ活動が促進され、市民の健康・体力づくりの増進を図る。
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 学校等の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲で開放し、市民がスポーツを楽しむ場を提供し、生涯スポーツの促進及び健康・体力づくりの増進を図る。 【学校等屋内体育館 10 施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・のぼりべつ文化交流館（旧登別温泉中学校）登別中学校、登別小学校、幌別東小学校、幌別小学校、幌別西小学校、青葉小学校、富岸小学校・若草小学校・鷺別小学校 ・平日（18：00～21：00）に限り開放する。 ・利用券により、体育館の電灯料相当分として実費負担金を徴収している。 少年団体：1回の利用につき250円 一般団体：1回の利用につき500円 ・学校開放中の管理については、カギの管理も含め登別市シルバー人材センターへ委託。 （新規利用や連絡調整は社会教育グループで対応）
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 各地域のスポーツ少年団が練習場所として使用するなど、青少年の健全育成の場となっているほか、多くの団体・グループが利用しており、市民スポーツ促進の場として定着している。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 学校体育施設開放事業の管理運営に関する規則

指標の推移

成果指標	区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
				目標値	実績値	実績値	実績値	実績値
成果指標	開放回数（年間延べ）	日	目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
			実績値	1,600	/	/	/	/
成果指標	利用者数（年間延べ）	人	目標値	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
			実績値	26,505	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	817	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
	一般財源 名称	千円	3,683	4,323	4,404	4,404	4,404	13,212
合 計			4,500	5,323	5,404	5,404	5,404	16,212
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	697	716			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		697	716			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 地域のスポーツ活動を促進し、スポーツの振興を図るため、市が行うことが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各地域のスポーツ少年団が練習場所として使用するなど、青少年の健全育成の場となっているほか、多くの団体・グループが利用しており、市民スポーツ促進の場として定着している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 全施設とも利用率が高く、利用者間で調整を行いながら利用の促進を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 経費の大部分が学校施設の管理委託であり、施設の安全管理面から、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	学校の体育施設を開放することにより、その地域住民のスポーツ活動が促進され、健康・体力づくりの増進を図るため必要である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）